



第2回全港湾政策推進議員懇談会総会を開催！

「参加人数」

全港湾（中執・オブ）	19名
国会議員	15名
代理	7名

5月25日（木）、第2回全港湾政策推進議員懇談会総会が開催され、勝部議連事務局長より開会の挨拶と進行を担ってもらい、近藤議連会長より開会の挨拶を受けた。全港湾からは鈴木誠一委員長より挨拶があり、新規加入議員が紹介され、新役員体制の承認がなされた。

「新加入議員の確認」

西村智奈美（立憲衆議院）
辻本清美（立憲参議院）
森屋 隆（立憲参議院）
大椿裕子（社民参議院）

続いて議題に入り、松永書記長より、政策推進議員懇談会の運営要綱変更の提案と、全港湾における政策課題について問題提起が行われた。①の「お手伝い特例」の経過と結果については、福山議員より、「可視化できたことは喜ばしいが、懸念の払しょくにはなっていない」との意見が出され、今後のチェックが必要との声も上がった。② 非効率発電施設の求廃炉に伴う雇用問題については、辻本議員より、「GX関連法案に参議院では公正な移行という言葉が入った。国策は国に責任がある」、「公正な移行とは何かを問う次のステージに入った」や、大椿議員からは、「大阪のカジノ問題での港湾における懸念や取り組みは」との意見も上がり、各中執との意見交換が行われた。最後に、城井幹事長から、「チェックやアクションなど国会議員としての役割を十分に果たしていきたい。そのためにも議員の皆さんと地元の組合とのつながりが必要となってくる。懇親を深めてほしい」との言葉をいただき閉会となった。

以上